

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.191 (2009年5月7日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

当
面
の
日
程

5月 8日(金) 民間大手部会代表者会議 16時(連合徳島)
11日(月) 中小対策本部幹事会 18時(連合徳島)
12日(火) 九・四ブロック会長・事務局長会議 ~13日(沖縄)
14日(木) 第6回五役会議 10時(連合徳島)
徳島労安センター理事会 13時30分(連合徳島)

「不安と怒り」から「安心と希望」の時代へ!



第80回メーデーが5月1日、県下6会場(中部地区4/29)で盛大に開催され、約2,800人が参加、プラカード審査やデモ行進、スピード抽選会等が行われた。

徳島市藍場浜公園での徳島中央メーデーは、好天に恵まれ、各構成組織から2,000人が参加。高根会長代行の開会あいさつ、議長団に寺西副会長と清田女性委員会副委員長が選出され、主催者を代表して川越会長は「今メーデーは、勤労者そして国民・県民の皆さんが『不安と怒り』の時代から『安心と希望』の時代への歴史的な転換を図る契機となるメーデーだ。09春闘で連合は『雇用も賃金も』

と取り組んだが、実体経済の中で、厳しい結果となった。特に、徳島など中小企業が多い地方においては、雇用の場そのものの喪失によって雇用の確保そのもの

が危ぶまれる事態となり、雇用の確保と創出が喫緊の課題となっている。今こそ、怒りを結集し、声を大にして、労働者派遣法の抜本的改正など勤労者の雇用を確保と安定に資する政策の実現と、グリーンニューディール政策など積極的な雇用の創出、生活擁護のセーフティネットの確立、格差の是正と均等待遇など、勤労者が明日の生きる力を見いだせるような社会をつくらなければならない。そのた



めの国民的運動をつくる必要がある。早期の解散総選挙で政権交代を果たし、勤労者が安心して生活できる『希望の国』へと舵を切ろう。私たちが力を結集すれば、社会を変える原動力として、大きな力を発揮することができる」と力強く訴えた。

続いて、来賓として飯泉徳島県知事、福祉事業団体(大松全労済理事長)、民主党・仙谷代議士、中谷参議院議員、社民党・前川県連副代表、連合推薦議員団を代表して庄野県議から、それぞれあいさつを受けた。

祝電・メッセージ披露の後、2009春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議、メーデーの祝日化を求める特別決議、良質な公共サービスの確立を求める特別決議、の3本が提案され、それぞれ全体の拍手で採択された。続いて、小松事務局長から「安定した雇用システムや安心できる社会保障の仕組みの実現」などを求めるメーデー宣言案を提案、全体の拍手で採択した。

その後、プラカード審査結果発表(18本応募)が行われ、藤岡副会長からメー

デー大賞・自治労国保労組、優秀賞・四国電力労組、努力賞・農協労連に賞品が贈られた。

山下副会長の閉会あいさつ、最後に川越会長の音頭で団結

ガンバローを三唱した後、2コースに分かれてシュプレヒコールを行いながらデモ行進を行った。デモ終了後、参加者に限ったスピード抽選会(空くじ無し)を行い、各構成組織や福祉事業団体から提供していただいた賞品が多数用意されていたこともあり、大好評だった。参加していただいた組合員の皆さん、大変ご苦勞様でした。

